

ごみ焼却施設解体・撤去に関するサウンディング型市場調査  
対話結果の公表について

令和2年10月15日

南越清掃組合  
管理者 奈良 俊幸

1. サウンディング型市場調査実施の経緯

第1清掃センターのごみ焼却施設については、令和3年度及び令和4年度にかけて解体・撤去工事を行い、跡地の一部北側にストックヤードを整備します。また、緑地に災害廃棄物仮置場を配置し先行利用します。

さらに、し尿処理場についても汚泥前処理施設に機能を変え、令和6年度に解体・撤去し、焼却施設、し尿処理場跡地と合わせ、整形化した用地として利用します。

そこで、敷地周辺の環境に配慮した跡地利用方策について意見や提案を幅広く求めるため、サウンディング型市場調査を実施しました。

2. サウンディング型市場調査の実施スケジュール

令和2年 9月 1日	サウンディング型市場調査実施要領の公表
令和2年 9月23日	説明会、現地見学会の開催
令和2年10月 2日～ 令和2年10月 8日	サウンディング型市場調査の実施
令和2年10月15日	サウンディング型市場調査結果概要の公表

3. サウンディング型市場調査結果の概要

参加事業者は2社ありました。

対話の対象項目	対話概要
跡地利用に関する提案	A社  駐車場、倉庫、管理事務所、緑地を整備(※)する。災害時には、地域住民や社員が活用できるオープンスペースとして活用可能とする。  (※)管理事務所等については、住環境に悪影響を及ぼす恐れのある地下50cmを超える掘削を行わないことを前提に、建物の建設が可能かどうか、A社が今後確認を行う。
	B社  新たな建造物は設けず、敷地周辺に高木を植え、緑地として整備する。